

全国消費者フォーラムで発表（食問題研究会）

～「いわゆる健康食品」の広告・表示の規制を～

平成26年2月22日に開催された、国民生活センター主催の全国消費者フォーラム第1分科会において、日本消費者協会の食問題研究会^(※1)のメンバーが「暮らしの安全・安心」をテーマに発表しました。

発表内容は、昨年1月と11月に実施した『いわゆる健康食品の広告・表示の調査』を元にした報告、提言など。調査結果を踏まえ、「二重価格表示」「体験談。有名人の推奨広告」「学者。研究機関のお墨付き広告」「報道記事風広告」「不安・不足感の強調広告』などはやめるべきと訴え、また、広告媒体の新聞社などについても科学的根拠が示されない広告は掲載すべきではない、との訴えも加えました。コメンテータの佐賀大学副学長で経済学部教授の岩本諭先生からは、『やめるべき』とルールの提言を明確に示した、との評価をいただきました。

今後も調査を続け、よりよい提言につなげたいと考えます。

(※1)食問題研究会とは・・・

平成24年に日本消費者協会の消費者相談室に寄せられた「いわゆる健康食品」の原材料についての相談をきっかけに、関心のある消費生活コンサルタントが「食問題研究会」を立ち上げ、自主勉強会をはじめ、メーカーや業界団体などへの聞き取り調査、さらに消費者委員会及び消費者庁への要請など、これまでに行っています。